



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構



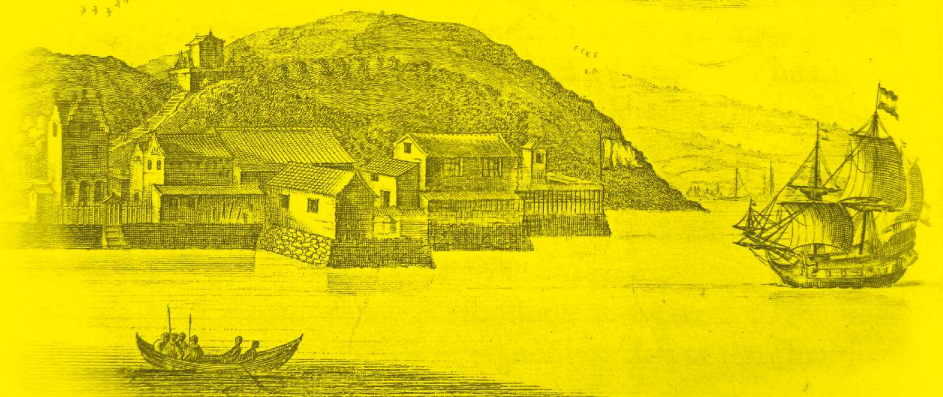
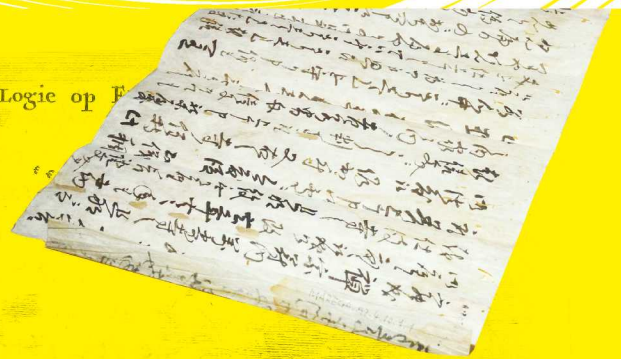
人間文化研究機構
基幹研究プロジェクト

第30回人文機構シンポジウム

海の向こうの 日本文化

—その価値と活用を考える—

De Logie op F



国際日本文化研究センター所蔵

平成29年6月3日[土]

13:30~16:30(開場13:00)

会場 ◆ 九州大学西新プラザ
福岡市早良区西新2-16-23

アクセス ◆ 地下鉄「西新」駅下車、⑦番出口より徒歩約10分

主催 ◆ 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

後援 ◆ 文部科学省、九州大学

参加料 ◆ 無料(要事前申込 定員200名)

手話通訳付

講演1 オランダ人と平戸との出会い

講演2 海を渡った切支丹禁教文書1万点の可能性

講演3 シーボルト・コレクションの長崎くんち衣裳

講演4 ニッケイ社会で生み出された資料から
日本の言語文化

申込方法 | 以下のWEBサイトからお申込みください。

<http://www.nihu.jp/ja/event/symposium/30>

※定員に達した時点で締め切ります。



お問合せ | 「海の向こうの日本文化」事務局

電話番号:092-722-0051

E-mail:mail@nihu2017.info

Program

- 13:30 開会
趣旨説明 稲賀 繁美(国際日本文化研究センター 教授)
- 13:45 講演1 オランダ人と平戸との出会い
—ハーグ国立文書館所蔵平戸オランダ商館文書調査研究・活用—
フレデリック・クレインス(国際日本文化研究センター 准教授)
- 講演2 海を渡った切支丹禁教文書1万点の可能性
—バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書調査研究・保存・活用—
大友 一雄(国文学研究資料館 教授)
- 講演3 シーボルト・コレクションの長崎くんち衣裳
—ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料調査研究・活用—
澤田 和人(国立歴史民俗博物館 准教授)
- 講演4 ニッケイ社会で生み出された資料から日本の言語文化
—北米における日本関連在外資料調査研究・活用—
朝日 祥之(国立国語研究所 准教授)
- 15:20 パネルディスカッション
パネリスト:岩崎 義則(九州大学 准教授)
佐藤 晃洋(大分県文化課 課長)
佐野 真由子(長崎県立大学 教授)
河野 まゆ子(JTB総合研究所 主任研究員)
稲賀 繁美(国際日本文化研究センター 教授)
- 16:30 閉会



Access

福岡空港から地下鉄「姪浜」行き乗車 約20分
博多駅から、地下鉄「姪浜」行き乗車 約15分
→いずれも、「西新」駅下車、⑦番出口より徒歩約10分
プラザ本館へは正面玄関(樋井川沿い)より、入館いただけますようお願いいたします。

[駐車等]

違法駐車は近隣の皆様のご迷惑になりますのでご遠慮願います。
公共の交通機関を利用させていただきますよう、お願いいたします。

